

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

がん治療医 (oncologist)に必要な、難治性固形がん患者に対するがん薬物療法および終末期がん患者に対する緩和ケアに必要な知識と技術を習得し、実践すること。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

- ①病歴聴取、理学的所見を含めた基本的診察ができるようになる。
- ②がん治療におけるチーム医療の重要性を理解する。
- ③他科紹介できるようになる(紹介状を作成できるようになる)。
- ④退院要約を作成できるようになる。
- ⑤CVポート造設術を修得する。
- ⑥固形がんに対する標準治療法を修得する。
- ⑦がん薬物療法の適応を見極めることができるようになる。
- ⑧がん薬物療法におけるEBMの実践を修得する。
- ⑨原発不明がんについて理解し、ガイドラインを熟知する。
- ⑩原発不明がんを診断し、治療を実践できるようになる。
- ⑪CTCAE基準を用いて、がん薬物療法における有害事象を評価できるようになる。
- ⑫RECIST基準を用いて、がん薬物療法における治療効果を判定できるようになる。
- ⑬SHARE (SPIKES)を用いて、悪い知らせを伝えるコミュニケーションスキルを修得する。
- ⑭がん性疼痛に対してオピオイドを適切に処方できるようになる。
- ⑮終末期がん患者に生じる倦怠感、呼吸困難などの身体的苦痛に対応できるようになる。
- ⑯終末期がん患者に生じる抑うつ、不安、せん妄などの精神的苦痛に対応できるようになる。
- ⑰看取りができるようになる。
- ⑱がんの臨床試験を理解し、分担医師として、参加できるようになる。
- ⑲がんの臨床試験における倫理を修得する。

III. 方略 (Learning Strategies)

外来・病棟でのOn the Job Training、カンファレンスおよび学会参加など。

IV. 経験できる疾患・手術など

固形がん全般、原発不明がん

V. 評価 (Evaluation)

退院サマリー、手術記事、症例レポート・minimumEPOCによる自己評価・指導医評価。指導医・看護師などによる形成的評価。

VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 長藤 宏司
2. 指導責任者 三輪 啓介
3. 指導医 牛島 知之、深堀 理
4. 研修施設 久留米大学病院

VII. 週間予定

月	09:00 病棟回診 09:00 外来化学療法 13:00 病棟処置、検査 16:00 病棟回診
火	09:00 病棟回診 09:00 外来化学療法 13:00 病棟処置、検査 16:00 病棟回診
水	09:00 病棟回診 09:00 外来化学療法 13:00 病棟処置、検査 16:00 病棟回診
木	09:00 病棟回診 09:00 外来化学療法 13:00 病棟処置、検査 16:00 病棟回診
金	08:00 抄読会 09:00 病棟回診、処置 09:00 外来化学療法 13:00 病棟処置、検査 15:00 キャンサーボード(外来・入院) 18:00 病棟回診
土	09:00 病棟回診

